

【報告④】

担当課	子育て支援課 子育て支援班
交付対象事業名	地域保育環境づくり事業
事業概要	少子化に歯止めをかけるため、子育て世代に求められる保育環境づくりを図る。子育て支援センターにおけるサークル活動支援や遊具等整備を行い、乳幼児及びその保護者の相互交流の場づくりを行う。また、町が掲げる子供たちの健全育成に向け、保育所等への遊具整備を図る。

本事業における重要業績評価指数（K P I）に関する成果及び検証

本町の地方創生において最優先となるのは「子育て・教育」環境づくりであるが、H25年度に実施した町アンケートでは、子育て支援の中核をなす子育て支援センターの利用状況は24%と低い。今後、地域全体で子育て世代をサポートしていく仕組みを築き、子育て世代への魅力ある保育環境づくりに努め、少子化対策につなげることが求められていることから、子育て親子が気軽に集まり親子同士の交流や育児不安を相談する場所として村田町子育て支援センターの機能を強化するため、村田町子育てサークル「カンガルー」の会員活動支援や支援センター遊具の整備を行った。乳幼児の年齢に合わせた遊具の設置ができたことにより、町内外問わず利用者数は大きく増え、また保護者間の交流も増えた。

また、村田保育所も遊具等の整備を行い、子ども達の体力や運動能力の向上を図り、心身ともに健やかに学び、充実した保育所生活を送れるようにした。

実施計画記載の重要業績評価指数（K P I）	成果及び検証とその根拠について
子育て支援センター利用状況率24%→50%に増 (※24%はH25年度の利用状況)	実績：平成25年度 大人1,473人 子供1,911人 合計3,384人(延べ) 平成27年度 大人1,723人 子供2,095人 合計3,818人(延べ) 平成27年度の利用状況 37% (12.83%の増) 根拠：村田町子育て支援センター利用者実績
子育て支援センター利用者数1,000人増	実績：平成25年度 3,384人 / 平成27年度 3,818人 434人増 (※参考 平成26年度 3,517人) 根拠：村田町子育て支援センター利用者実績
子育て世帯の不満及び不安の解消と満足度向上	実績：利用人数の増及びリピーターの増 根拠：村田町子育て支援センター日誌により確認
子育て世帯の施設利用者数の向上	上記のとおり

村田町地方創生推進委員会からの主な意見

- 保育環境づくりは、定住施策と連動していて関係がある。働く女性に対して効果的な施策が、今後の転出抑制や転入促進に効果的となる
- 目標値を上回らなかったものの、結果は良い数字だと思う。KPI の設定が高すぎたのではないか？